



生活を大人の勝手で切り刻むまい、

過去のよき遺産を次世代に引き継ごう、という文脈が感じられる。自然

の木のぬくもりを保育に生かそうと

する試み（高橋先生）は現代の「恩

物」に他ならない。今回のアーカイ

ブズは、氏原先生による幼稚園五十

周年目の回想（昭和二年）である。

今から八十年前の時点での「昔日」

の功労者への愛惜に触れ、いつの世

もその只中の当事者は時代の先端に

あり未来は見えていない、という當

たり前のことにも不思議さを覚えた。

過去を振り返るまなざしの角度は、

現在を見すえる視角でもある。本誌

も、この古い幼稚園と共に歩んでき

た。今回の特集号を、本誌の今日性

を考える機としたい。（浜口）

☆ 本誌へのご投稿をお待ちしていま

す。youjimail@yahoo.co.jpまで。  
ベル館にお願いいたします。

## 幼児の教育

第一〇五卷 第十一号

(一〇〇六年十一月号)

定価五五〇円 (本体五四四円)

発行 平成十八年十一月一日

編集兼発行人 浜 口 順 子

日本幼稚園協会

〒112-8620 東京都文京区大塚二丁目二

お茶の水女子大学附属幼稚園内

図書印刷株式会社

〒108-8620 東京都港区三田五丁目二

株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一一四一九

☎〩三一五三九五一六六二三(営業)

振替 〇〇一九〇一一二一九六四〇  
□〩三一五三九五一六六〇四 (編集)

今号の文章には「つぐ」「つなぐ」というキーワードが目立つ。表題ばかりでなく、内容からも、子どもの

日本の現存する幼稚園としては最も古い（現お茶の水女子大学附属）幼稚園が創設百三十周年を迎えた。創立の日である十一月十六日を幼稚園記念日と呼ぶこともあるようだ。

百三十という数字はそれほど切りのいい数字ともいえないが、学制（明治五年）公布後いち早く発足した小学校が、日本各地で軒並み百三十年を祝う時代に入ったのであり、しかもまだ「百五十年」を寿ぐほど、日本の近代はまだその身をさらされていないのだと改めて思う。

今号の文章には「つぐ」「つなぐ」というキーワードが目立つ。表題ばかりでなく、内容からも、子どもの

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。